

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 1日

事業所名 摂津市立つくし園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
				課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		施設基準に沿ったスペースの確保している
	2 職員の配置数は適切である	○		施設基準に沿った保育士・児童指導員を確保している
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	利用される子どもに合わせた高さの違う机、椅子を準備しており、視覚で分かるよう写真等を用意している。廊下に保育・療育で使用したものを置いており、手すりの邪魔になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		保育・療育終了後の掃除、消毒液を使用した拭き掃除、週2回の大掃除等を全職員で実施している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝夕の全職員による打ち合わせ会議、月1回の正規職員による定例会議を実施している。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		センター内には、保育士、児童指導員、PT、OT、ST、公認心理士等多職種の職員が常駐しており、ニーズや課題を多方面から検討作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化された発達検査を実施し、子どもの状態把握を行っている。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		事業内だけでなく「家族支援」「地域支援」等について、月1回のクラス面談、随時の個別面談を実施し、絶えず相談しやすい体制をとっている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		年長児を対象に作業療法訓練を実施している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		クラス担当職員全員で毎朝打ち合わせを行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		クラス担当職員全員で、また全職員全員で振り返りを行い、報告及び検討を行っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングだけではなく、月1回のクラス面談、親子保育時に意見聴取を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		茨木保健所、摂津市保健福祉課と連携を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	必要に応じて連携を行っているが、現在は保護者または関係機関との連携で終わっている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援として、保護者同意のもと事前に資料による引継ぎを行い、後日来園、訪問で丁寧な引きつぎを行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的に開催している事業所連絡会や圏域内の研修会等に参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	保護者個別で市内の保育所等の園庭開放等に参加を促して折、園としては機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		摂津市の子育て支援ネットワーク推進会議に参画し、親子行事等には園として参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートで毎日家庭での様子や園での様子を伝え、必要に応じて電話連絡を行っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		園内で母親教室を開催し発達、言語、健康管理、食育等の理解を深めていただいている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画について保護者に書面を用いて説明を行い、同意を得るようにしている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて親子保育終了後や、クラス面談後の時間を利用して助言等を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者主体の行事の準備や助言を行い、連絡等についても事業所が仲介等を行っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		園だよりを給食献立表と共に毎月発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		登降園時には、必ず職員は伝達事項等を聞いたり、伝えたりしており、また連絡ノートを活用している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		夏の行事で、地域のボランティアサークルや中学生に案内を行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	各マニュアルについては、全職員に周知を行っているが、保護者には周知できていないものもある。今後は、マニュアル等を閲覧できる機会をつくるよう検討をします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		様々な状況を想定した避難訓練を毎月実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に医療面等での配慮が必要なお子さんについての情報は確認している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットや事故については、終礼時に職員全員で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の研修を法人全体で実施し、全員参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	支援計画には記載は行っておらず、口頭での説明程度になっている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。